

1. 共同活動内容および趣旨について

【活動内容】 人を通して障害を識るフリーペーパー「gente」共同制作

社会にある「障害」について、直面している当事者へのインタビューを通し、知るきっかけを提供するためにフリーペーパーとして発行しています。2018年9月に創刊、2021年3月発行11号を共同制作します。

【活動趣旨】 編集部サイド：学生の視点を取り入れる

読者目線に近い学生の視点を取り入れ、編集部単独では制作できない紙面づくりを目指す

学生サイド：当事者の日常に触れ、地域の多様性について知る

身近にある障害についての気づきから多様性を意識し、同じ社会を共有していると実感する

2. 共同活動者

【アドバイザー】 人間社会学部 和田義人教授

【参加学生】 人間社会学部 和田ゼミより学生3名が参加(3年生男子一名／2年生男子一名・女子一名)

3. 取材対象

【取材対象者】 ブラインドサッカー日本代表 佐々木康裕さん／視覚障害：全盲

4. 活動計画と実施詳細

【活動計画】 a. 取材内容や方向性の検討

b. インタビュー取材×2回、および付随する追加取材の実施

c. 取材素材から掲載する内容を検討、ベース原稿の作成

【実施詳細】 a. 取材内容や方向性の検討／7月～10月

→取材検討のため、対象と事前面談を実施。実際に接点を持つことで認識に変化

取材テーマ「スポーツを通して、障害者と健常者の壁は解消できるか」に決定

b. インタビュー取材×2回、および付随する追加取材の実施

ブラインドサッカー体験練習参加／10月4日

↓

第一回インタビュー取材実施／10月28日

↓

内容を踏まえて次回質問検討

↓

第二回インタビュー取材実施／11月25日

前回補足およびデジタルデバイスの活用について質問



【実施詳細】 c. 取材素材から掲載する内容を検討、ベース原稿の作成／11月～1月

インタビュー音声を文字起こし→内容を精査



どの部分を編集し掲載するか検討、おおまかに抜粋



抜粋した内容について編集部とともに検討、編集の方向性を決定



以降作業引き取り、編集部にて紙面制作開始

紙面校正

→初校を取材対象者へ校正依頼／並行して学生たちで内容確認



取材対象者／学生確認後、編集部にて紙面仕上げ



紙面完成、3月より配布開始



5. 活動成果と総括

【活動成果】

編集部サイド：編集部単独では持ち得ない視点を取り入れられた

→体験取材や素朴な疑問など、単独では行えなかったであろう取材となった

学生サイド：障害の存在や多様性について認識し、意識が変わった

→身近にある障害についての気づきを得た

→多様性を意識し、同じ社会を共有していると実感した

→自分にできる身近なサポートがあると知った

【総括】

活動趣旨として掲げた内容は、一定の成果として達成することができた。

